

富士山の

か

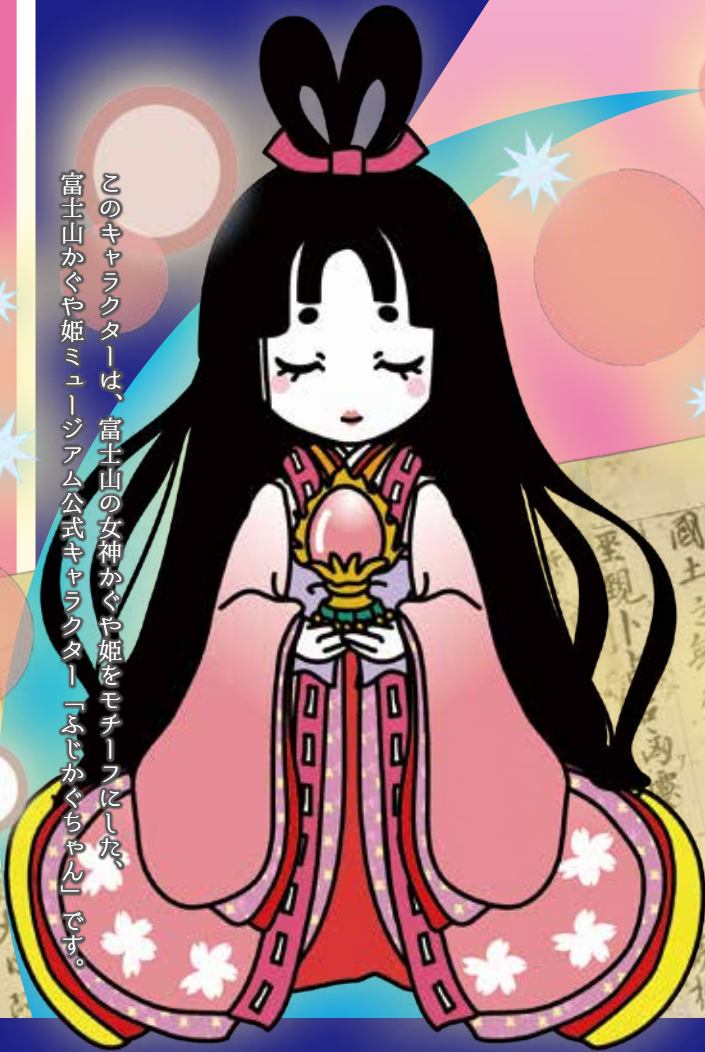


や

姫

女神

2019 令和元年
6月15日(土)
8月18日(日)



このキャラクターは、富士山の女神かぐや姫をモチーフにした、富士山かぐや姫ミュージアム公式キャラクター「ふじかぐやちゃん」です。

▲『富士山大縁起』元禄10年（1697）富士山かぐや姫ミュージアム蔵

関連イベント

すべて事前申し込み不要です。
当日直接お越しください。

◆記念講演会「富士山縁起と中世の富士信仰」(仮題)

講師：西岡芳文（上智大学文学部教授）
日時：7月28日(日) 午後1時30分～3時
（当日午後1時受付開始）
会場：静岡県富士山世界遺産センター 研修室

◆館内講座「富士山に帰るかぐや姫 伝説と史跡」

講師：秋山裕貴（富士山かぐや姫ミュージアム学芸員）
日時：6月16日(日) 午後2時～3時
会場：静岡県富士山世界遺産センター 研修室

◆ギャラリー（展示解説）※常設展観覧料が必要です。

日時：6月23日、7月7日、8月11日、18日 いずれも
午前11時～11時30分、午後2時～2時30分
会場：静岡県富士山世界遺産センター 企画展示室

開館時間

【6月】午前9時～午後5時

【7・8月】午前9時～午後6時

※最終入館は閉館の30分前

会場

静岡県富士山世界遺産センター 企画展示室

〒418-0867 静岡県富士宮市宮町5-12
TEL 0544-21-3776 FAX 0544-23-6880
<https://mtfujii-whc.jp>



会期中の休館日

6月18日(火)、7月16日(火)

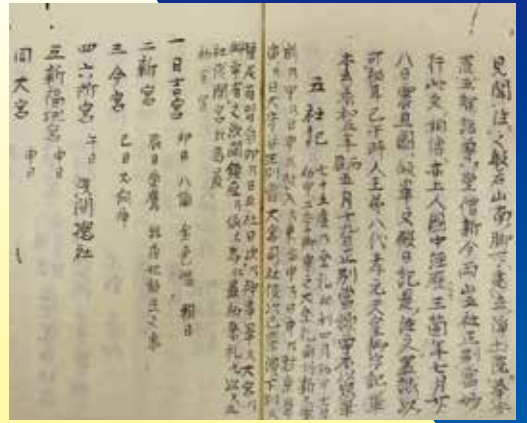
観覧料

常設展観覧料で御覧いただけます。

〈常設展〉個人300円、団体(20人以上)200円、
大学生以下・70歳以上・障害者等 無料(要証明)



①



②

- ①現存する東泉院宝蔵（吉原公園）／
- ②『富士山大縁起』・永禄3年（1560）
- ／③『駿河国富士山絵図』富士山別当表口村山興法寺三坊蔵板・江戸時代中後期／④浮世絵『書画五拾三駅駿河吉原竹取ノ古事』林静作・明治5年（1872）
- （②～④富士山かくや姫ミュージアム蔵）



③



④



富士山の女神

かくや姫

「かくや姫」というと、竹から生まれた少女が最後は月に帰ってしまうという、古典文学『竹取物語』を思い浮かべられる方が多いのではないのでしょうか。

しかし、ここ富士山周辺では、かくや姫は月ではなく富士山に帰り、富士山の神様だった、というストーリーが伝承されています。この話は、「富士山縁起」という富士山信仰に関わる寺社の縁起書などに記され、特に富士南麓に位置する静岡県富士市・富士宮市を主な舞台としていることから、当地周辺にはいくつもの伝承地が残されています。

本展覧会では、この富士山に帰るかくや姫の物語を紹介するとともに、どのようにしてこの地に伝わったのかを探ります。また、「富士山縁起」を数多く残し、明治時代初頭まで富士郡下方（現在の富士地域の大部分）において活動した有力な密教寺院「富士山東泉院」の存在に注目し、富士山と富士南麓のかくや姫伝説の結びつきについて考えます。

なお、本展覧会は、静岡県富士山世界遺産センターと富士山かくや姫ミュージアムによる初の共同企画展になります。

静岡県富士山世界遺産センター・富士山かくや姫ミュージアム 共同企画展

本展の展示会場



静岡県富士山世界遺産センター

観覧料 (常設展) 個人300円、
団体 (20人以上) 200円、
大学生以下・70歳以上・
障害者等 無料 (要証明)

開館時間 6月9日: 00~17:00
7・8月9日: 00~18:00
※最終入館は閉館の30分前

会期中の
休館日 6月18日(火)、7月16日(火)



〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12
<https://mtfuj-whc.jp>
 TEL0544-21-3776 FAX0544-23-6800



富士山かくや姫ミュージアム

観覧料 無料

開館時間 9:00~17:00

会期中の
休館日 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日、
7月9日~12日(燻蒸期間)

〒417-0061 静岡県富士市伝法66番地の2
<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp>
 E-mail:museum@div.city.fuji.shizuoka.jp
 TEL.0545-21-3380 FAX.0545-21-3398



「うちも来てね!」